



Love Land aiLand



補充学習、意識を高くもち取り組んでいます！



時間が過ぎるのは早いもので、今年度もあと1か月となりました。

今年度も寒波の影響で渡船が欠航し、分散登校になることが重なりました。そこで、学習を止めないための取組としてオンライン授業とともに、全学年で週2回程度の補充学習を行っています。すでに3年生は、12月から月に3~4回、7・8時間めの補充学習に取り組んできました。3年生の8時間めの時間帯には、島の1・2年生と一緒に残って自主的に学習する姿も見られました。その経験からか、通常よりも1時間多い時制となっていますが、1・2年生も意識を高くもって授業に取り組んでいます。この取組が、学習に臨む姿勢をよりよくする機会になっています。また、時制の関係上、補充学習後には、すぐ下校となることもあり、補充学習の前には帰りの準備を済ませておくなど、先を見通して行動することができるようになってきました。ここでも分校の生徒たちの成長を感じることができています。

第5回「i-study10 プロジェクト」を実施しました！

2月21日(火)・22日(水)に学年末考査がありました。それに伴い、第5回の「i-study10 プロジェクト」(家庭学習強化の取組)を実施しました。

考査に先立って、2月6日(月)に学年末考査の学習計画を立てました。生徒全員がホールに集まり、学年を超えてよりよい家庭学習の方法について考えました。今回は、他の人の工夫した自学ノートを参考にして、学習方法に役立てるという学習委員会の取組も組み込んで行いました。考査前2週間の各月曜日に、自学ノートの画像を掲示し、お互いにコメントをつけ合うという試みの1回目でした。ノートの整理の仕方として、色の使い方や余白の取り方など、お互いにアドバイスしながら、よりよい自学の方法について、熱い議論が交わされていました。1週間後、2回目の自学ノートの画像の掲示では、前回のコメントやアドバイスをもとに、自学ノートの改善が目に見えてわかるようになっていました。「○○ちゃんの自学ノートを参考にして重要度によって色分けをしました。」「◎◎ちゃんのノートを目指しています」というような自分のノートにつけた解説コメントが見られ、方法を工夫した学習につながる取組になっていました。考査の計画表の記入・提出状況は、これまでで一番よくなり、自ら学習に取り組む姿勢が身につけてきたようです。今回学んだ「学び方の工夫」を考査前だけでなく日常的な家庭学習でも、続けていきたいですね。



いじめゼロサミット、堂々とした発表でした！



2月17日(金)、新宮中学校区の5校による第2回「いじめゼロサミット」をオンラインで行いました。今回は、各校が「いじめゼロ」に向けて、今年度の取組の成果を報告する場となりました。相島分校は、「いじめゼロ集会」「小中合同レクリエーション」「あいさつ運動」「ポスター、キャラクターづくり」の4つの取組とアンケート結果から「いじめゼロ」への意識が向上していることを報告しました。分校代表の1・2年生の代表生徒は、よどみなく堂々と発表し、3学期から新体制となった生徒会をリードしていく姿を見せてくれました。各校の報告を聴いたり、自分たちの取組を振り返ったりすることで、改めていじめのない学校や社会を作ることへの思いを、新宮中学校区の小中学校と共有できる貴重な機会となりました。

生活委員会の取組で花を植えました！

2月24日(金)、生活委員会の取組で分校玄関が花で彩られました。これは、SDGs 15番「陸の豊かさを守ろう」に基づいた取組です。この日のために、生活委員会では、植える花の種類についてアンケートを取り、計画を立てて備えてきました。ピロティにて生徒全員で、花を植え替え、その後、玄関に並べ、綺麗に咲き続けることを願いながら、水やりを行いました。学校の景観をよくし、花によって心の安らぎを得ることで、毎日の通学が楽しみになることと思います。また、いろいろな種類の花を植えることで、植物の植生や生物の多様性について考え、環境問題について思いをめぐらす体験になりました。花のためには、朝の時間帯に水をやるといいと助言を受け、早速実践している姿も見られ、小さな命を大切にしてくれています。



